

南アルプス市立白根巨摩中学校 学校関係者評価書（後期）

白根巨摩中学校 第2回 学校関係者評価委員会

令和7年1月23日作成

実施日 令和7年1月20日（月） 午後5時～
会場 白根巨摩中学校 校長室
参加者 学校関係者評価委員 4名（五十音順）
浅利 司（元白根巨摩中校長）
芦沢 秀樹（西野地区自治会長）
安達 映美（白根女性団体連絡協議会代表）
堀内 久（PTA会長）
学校職員 4名
矢吹 和信（校長）
雨宮 文（教頭）
足達 敏弥（教務主任）
塩谷 茂美（生徒指導主事）

内容

- 1 学校から提案された内容
 - （1）生徒の生活について
 - （2）後期アンケート結果について
 - （3）後期学校評価の自己評価について
- 2 評価されたおもな内容
領域別・評価項目別の自己評価考察および意見交換

学校関係者評価

1 全体評価

後期の教職員によるアンケート結果は、前期とほぼ同様の平均4.5（A-5点 B-4点 C-2点 D-1点として平均を出したもの）となった。生徒アンケート、保護者アンケートの得点についてもほとんどの項目において、指標とする平均4.0を上回っている。これらの結果から、学校運営は良好に行われていると考えられる。職員一人一人の意識が高く、職員が同じ方向を向き、組織として取り組んでいる成果である。また、前期で確認された課題にも学校としてしっかりと取り組んだ結果がアンケートからわかる。

今後も「基礎学力・家庭学習の定着」、「授業でのICTの有効活用」、「不登校生徒への対応」等の課題を見据えながら、引き続き職員がチームとなって、個々の生徒や保護者に寄り添った支援を継続していくことが必要となる。また、関係機関との連携をさらに深めながら、きめ細かな教育実践に努めてほしい。教職員がこのように一生懸命、生徒を育ててくれている。学校にお任せすることが多くて申し訳ないが、地域の大人として、「おはよう」「こんにちは」「気を付けて」などのあいさつや声掛けなどを積極的に行い、支えていきたい。

2 自己評価書に見る課題と対応について

○学校運営

- ・先生方が個々の生徒や保護者への対応をきめ細かく行っており、よくがんばっている。生徒の様子やアンケートから、生徒も落ち着いて生活している様子が見える。生

徒と先生方が一丸となり巨摩中の伝統を発展させ、さらなる高みをめざしてほしい。

- ・巨摩中の取組の歴史を見ると、行事はとても意味がある。学園祭も合唱も素晴らしい取組である。一方で、先生方がやる気をもって健康に取り組んで頂けることが何よりだと考える。部活動の地域移行や業務改善がさらに進み、先生方にとって働きやすい職場となるよう、今後も管理職が中心となって、働き方改革を進めていってほしい。そうすることで、一人一人の生徒に寄り添った教育活動がさらに展開できると思う。

○教科指導

- ・保護者の中では「学力」についての意見が多い。宿題やタイアップ（週末課題）への取組についても賛否両論ある。今後も保護者の理解を得ながら、進めていってほしい。
- ・学習しようとする意欲を見ると、1年より2年、2年より3年と、やる気や深まりを感じることもから、今の巨摩中は良いのだと感じる。
- ・ICTを有効活用できるよう職員研修等も計画的に実施していく。不登校の生徒の学習や対応でもICTを効果的に取り入れることで、多様な学びに応えることができる。

○生徒指導

- ・登下校の生徒の様子を見てみると、あいさつをしっかり返してくれたり、友達との関係性や雰囲気がとても良い。教職員が学校生活を支えているおかげだと感じる。
- ・不登校生徒数は全国的にも増加傾向にある。原因も多様で、個別の丁寧な対応が求められている。保護者は心の負担も大きい。学校以外でも学びの場はあり、登校したことになったりもする。学校が全てを担うのではなく、さらに生徒や保護者に情報提供しながら、様々な機関とつなげていくことができるようになってほしい。
- ・いじめに関しても、生徒からの主体性のある意見が出ている。こうして生徒たち自らが考え、人との関わり方や集団の在り方をこれからも学んでいってほしい。

○特別活動

- ・2学期は学園祭や合唱発表会や強歩大会等、多くの行事を通して、生徒は様々な力を培った。特に、これまで大事にしてきた行事については、その目的や意義を確認しながら、継続か内容の見直し等検討する中で、業務削減につなげていってほしい。
- ・小中一貫校として、今年度は学園祭の演劇鑑賞を行い、互いに良い刺激を受けている。他にも合唱やあいさつ運動等、連携して行い交流を深めることができている。来年度からCSとして一步を踏み出す。子どもたちのために出来ることを地域の一員として探っていきたい。
- ・部活動の指導については、外部指導者や地域ボランティアが今後増えていくと良い。

○健康安全・その他

- ・スマホの扱いに関しては、どの学校でも課題が多い。関連するトラブルも増加している。生徒自身が使い方を見直す機会となるような集会などを今後も継続的に実施するとともに保護者への意識向上も図ってほしい。
- ・地域としては、生徒や先生方を様々な面からサポートしていくことで、先生方の働き方改革が進むように、と考えている。

3 特記事項

○評価委員より、次の3点について今後も学校経営の課題として取り組むよう提言があった。

- ① 教職員の負担軽減につながる部活動のあり方
- ② ICTのさらなる有効活用を含めた学力向上
- ③ 不登校等の生徒への継続的な関わり

記載責任者

白根巨摩中学校学校関係者評価委員会 委員長 浅利 司
副委員長 堀内 久

